

平成25年度の「高浜市の未来を創る市民会議」の運営の方向性について ～「第6次総合計画推進会議」からの提言を踏まえて～

平成25年度の「高浜市の未来を創る市民会議」のスケジュール(イメージ)及び前期基本計画の推進における市民会議の役割については「第6次高浜市総合計画推進会議」(第7回:3月22日開催)において報告し、委員からの了承を得ている。

提言1. 新しい人材の掘り起しと次世代リーダーの育成

- ・新たな人材の掘り起こしや、次世代リーダーの育成が必要と考える。これまでのメンバーに加え、少しでも新しい方に参入していただけるよう配慮していただきたい。
- ・平成24年度は、新規参画の女性たちが高い意識を持って取り組む姿が印象的であった。その分野に造詣の深い人も含め、女性や若い世代など、多様な視点を取り入れるようにメンバー選定をしていただきたい。

改善に向けた
行政の考え方

- ・分科会編成にあたっては、女性や若い世代にも参画していただけるよう、配慮して呼びかけを行う。
- ・行政OBや、その分野に専門的に携わっている人など市民会議の「取り組みテーマ」の検討・実践に力を発揮できる人材に参画していただけるよう、関係部署において積極的に掘り起していく。

提言2. 市民会議への参画意欲を盛り上げる工夫

- ・分科会の比重が増え、話し合いが十分行われるようになったことで市民の参画意識は増している。引き続き、このスタンスで進められたい。
- ・会議資料をよりコンパクトにして負担感を軽減し、参加することが面白いと思わせるよう努力を続けていただきたい。職員の姿勢によるところも非常に大きい。

改善に向けた
行政の考え方

- ・平成25年度も分科会を中心とした進め方とする。職員リーダー及び職員メンバーは、分科会の場において全員が積極的に発言し合えるような雰囲気づくりに努めるとともに、達成感を味わえるような取り組みとなるようテーマの選択等に十分留意する。
- ・市民メンバーが負担に感じないボリュームを考え、「読もうという気持ちにさせる」「わかりやすい」資料の提供に努める。

提言3. 職員メンバーの意欲

- 平成 24 年度は分科会職員リーダーとの事前調整が密になり、行政が主導的に進めたことを評価したい。
- 会議中、行政的なルールなど市民には不明な部分についての説明もなされ、職員メンバーが上手くリードをしてくれた。引き続き、職員メンバーが主体的に会議に参画することを期待する。

改善に向けた行政の考え方	<ul style="list-style-type: none">• 引き続き、分科会職員リーダーは、市民リーダーとの連絡・調整を密に行うとともに、事前に職員メンバー同士のイメージの共有を図り、スムーズな進行に努める。• 職員メンバーは、行政からの想いがきちんと伝わるように、説明の仕方や用語に留意する。また、自分の業務に直接関係のないテーマであっても、積極的に参画する。
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

提言4. 連携のあり方

- 類似したテーマ、あるいは合同で実施した方が成果の上がるテーマについては、分科会同士が連携すると良いと考える。分科会職員リーダーや事務局の調整を期待する。

改善に向けた行政の考え方	<ul style="list-style-type: none">• 分科会の中で、十分に取り組みテーマおよび他分科会との連携の是非について協議をした上で、職員リーダーが相手先となる分科会の職員リーダーと調整を行う。双方の想いが合致し「相思相愛」になれば連携し、共にテーマに取り組むこととする。
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

提言5. 情報共有

- 各分科会の取り組み状況の発表や、活動団体の「お知らせコーナー」など、情報共有を大切にしていきたい。

改善に向けた行政の考え方	<ul style="list-style-type: none">• 全体会における活動団体の「お知らせコーナー」は、引き続き情報共有の場、PRの場として活用していただく。• 各分科会の取り組み状況の途中経過などの進行についての情報共有は、全体会で大きく時間を割くのではなく、ポイントをおさえて実施すると共に、各分科会の場での説明など様々な形でお知らせし、全体のレベルアップを図っていく。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------